

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	がん治療関連心血管障害に関する観察研究
	研究目的	がん治療中ないしは治療後に心血管疾患が発症する場合があります。抗がん剤や分子標的治療薬による心不全、不整脈、心筋虚血、高血圧、血栓塞栓症、免疫チェックポイント阻害剤による心筋炎、心不全、放射線治療による心不全、弁膜症、不整脈、大動脈疾患、心筋虚血、心膜炎、外科治療後の不整脈、血栓塞栓症などです。今後のさらなるがん治療の進歩のためには、これら心血管疾患対策は欠かせないものと考えます。よって当院の患者さんを対象とした観察研究を行って、過去または未来の発症因子や発症形態、治療の有効性を理解することが必要です。さらに統計的手法などを用いて新しい知見を導き出し、将来的な予防法や管理法、治療法の発見をすることが必要と考えられます。
	研究対象者	1980年から現在まで当センターに御通院中または通院歴のある患者さん
	研究期間	西暦 2020年9月7日～西暦 2023年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 遺伝子情報	
試料・情報の管理について の責任者	当センター	循環器内科 常松尚志
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	循環器内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし